

後期基本計画 平成31年度 基本施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 04 持続可能な水道経営

主管課長職・氏名	水道総務課長 齊藤 明徳
関係課長職・氏名	水道整備課長 及川 竜悦

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	水道は、市民の日常生活における重要なライフラインであり、安全な水道水を持続して供給できる健全な水道事業の経営を目指します。
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	- 0.0
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	- 0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 04040100 水道経営基盤の充実 経営資本営業利益率 単位 %	1.57	1	1	1	1	1	- 0.0
	単位							
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 平成31年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策：04 持続可能な水道経営

主管課長職・氏名	水道総務課長 齊藤 明徳
関係課長職・氏名	水道整備課長 及川 竜悦

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

基本施策である持続可能な水道経営の実現に向け、滝沢市水道ビジョンの施策方針に従い、概ね順調に各施策が進められています。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

将来的に水需要が減少すると予想され、今までのような水道使用者の増加による水道料金の増収が見込まれなくなってきています。このような中、人口減少に伴う水の需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の水道の直面する課題に対応し、水道の基盤の強化を図るため、平成30年12月に水道法が一部改正されました。改正の概要は、①関係者の責務の明確化、②広域連携の推進、③適切な資産管理の推進、④官民連携の推進、⑤指定給水装置工事事業者制度の改善の5つで、これら水道事業の共通の課題解決に対し、国や県の多様な支援が今後具体的に示されるものと期待されます。

(3) 政策との関連性

政策「ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまちを目指します。」の推進のため、市民の日常生活に欠くことのできないライフラインである水道を維持し、安全な水道水を安定して供給できる水道事業の経営を目指します。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

持続可能な水道経営を実現するための運営指針となる後期経営計画（平成31年度～34年度）に基づき、施策目標の達成に向け事業を展開していきます。

- ・納付方法の多様化による顧客サービス向上、体験型啓発活動等による広聴広報の充実に努めます。
- ・世代間の負担の公平性と持続可能な経営の観点から適正な水道料金の見直しを行い、財政の健全化を図ります。
- ・計画的な内部研修や外部研修への参加、適正な人事配置により、人材育成と組織力の強化を図ります。
- ・盛岡広域ブロック検討会等において、施設管理の共同化などの具体的な広域連携の取り組みを検討実施していきます。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成31年度の重点課題

- ・適正な水道料金について合意形成を図るため、水道事業の現状や課題について利用者へわかりやすく周知理解を得ることが大切です。
- ・納付方法の多様化・口座振替の推進による顧客サービスの向上に取り組みます。
- ・子供向け水道啓発活動や市民等を対象とする体験型啓発活動に取り組みます。
- ・各施策を達成するために、人材育成と技術が継承されるように、職員の適正配置による組織力の強化を図ります。
- ・広域連携について国庫補助制度の導入を検討するとともに、盛岡広域ブロック検討会に参加し情報共有を図ります。

(3) 基本計画期間及び平成31年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・滝沢市水道事業後期経営計画の各施策目標の達成を優先するものとし、特に顧客サービスの向上と財政の健全化を推進していきます。
- ・その中で平成31年度に特に優先するものとして水道料金の適正化による財政の健全化があり、そのためには利用者の理解を得れるようわかりやすい情報の提供や、いろいろな広報広聴活動などを通じて、水道事業の見える化に取り組むことが最優先と考えます。

